


受賞者氏名	廣津 登志夫	
所属	情報科学部	
受賞年月日	2021/12	
国内・国外	国内	
授与機関等名称	情報処理学会	
受賞名	情報処理学会 CS 領域功績賞	
受賞(研究)内容詳細	<p>CS 領域功績賞は、情報処理学会の中の「コンピュータサイエンス領域の研究 会分野において、顕著な功績のあったものに贈呈する」ものとなっている。 受賞者は、2004～2007 年度にシステムソフトウェアとオペレーティング・シ ステム研究会 (OS 研究会) の幹事を、2015～2016 年度には主査を努め、当研究 会の運営に貢献した。また、OS 研究会が編集責任研究会の一つとして編集、 運営に関わっている情報処理学会論文誌コンピューティングシステム (ACS 論 文誌) について、編集委員 (2005～2008 年度、2011～2014 年度)、編集副委員 長 (2009～2010 年度)、編集委員長 (2021 年度～現在) を務め、論文誌の編集に も携わってきた。特に、ACS 論文誌においては、独自の査読管理システムを、 2008 年から現在に至るまで管理運用する責にあっている。ACS の査読シス テムは昨年急逝された元京都大学計算センターの中島浩教授が 2004 年頃に開 発されたもので、投稿の受付から、査読、採否決定とその通知に至るまで、 その全てをオンラインで行うことができる。現在では論文の投稿・査読をオ ンラインで行うことは一般的になっているが、当時では論文誌を査読管理す るシステムは珍しく、さらに、査読プロセスから採否通知まで全てオンライ ンで行う (そのため迅速に査読を完了することができる) ことや、編集責任 会議が実施するシンポジウムとの連携号の対応が可能であることに特徴があ った。2008 年頃に運用の担当を引き継いで、以来、連携会議との体制の変更 や査読プロセスの変更等に対するシステム改修やクラウド基盤上への移行を 経て現在に至っている。今回の受賞に当たっては、この ACS 論文誌への貢献 も含めて、システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会なら びにコンピューティングシステム分野における貢献が大きいとして表彰頂い たものである。</p>	